

発言No. 2

受付No. 1

令和5年8月22日
10時 19分 受付

委員会代表質問発言通告書

議席番号 14 番 氏名 布施 賢司

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

産業建設委員会では、これまで公設民営化後の「道の駅」ゆうひパーク浜田の今後についてや、基幹産業でもある第一次産業の農業・林業・漁業について委員会代表質問を行ってきた。今回、商工業、観光業についてその関係者と意見交換を行い、ポスト・コロナ時代へ向けて現状と問題点・課題等について意見を集約した。その集約した意見を基に委員会を代表して質問をし、浜田市の今後の取組について執行部の考えを問う。

1 ポスト・コロナ時代の支援策について

(1) 中小商工業者に寄り添った支援策について

- ① 中小商工業者に寄り添った支援策は、雇用を維持し地域経済を守るうえで極めて重要である。新型コロナの影響を受けた中小企業が、実質無利子・無担保で融資を受けた、いわゆる「ゼロゼロ融資」の返済が7月から始まった。「売り上げは回復傾向にはあるが、『ゼロゼロ融資』の返済が負担となり、新しいチャレンジができない」という声なども出ている。資金に余裕を持たせるための新たな融資策や、必要なときに背中を押す市独自の支援策が必要と考えるが、市長の所見を問う。
- ② プレミアム付「はまだ応援チケット」には消費喚起や売上増加など効果があり、特に地元企業は大いに恩恵を受けた。これまでの問題を整理した上で、良い政策については引き続きプレミアム率を下げてでも実施していただきたいとの要望があるが、市長の所見を問う。
- ③ 全国の様々な地域で新たな経済の流れとなるデジタル地域通貨は、金融分野に新しいサービスを取り入れたフィンテック（金融×IT）であり、本市において地域金融機関が「イノベーション」する取組としては必要だと考える。地域活性化のためにも導入するべきだと思うが、市長の所見を問う。

④ 製造業など光熱費、原材料費が高騰（電気 1.4 倍、ガス 1.7 倍）しており、商品への価格転嫁はなかなかできないが、このままでは価格改定をせざるを得ない状況である。
少しでも光熱費や物流コストの高騰に対する支援や、関東圏や国外への商談会及び研究提携への支援、そして浜田や石見のブランドを拡散できる方策が必要と思うが、市の考えを問う。

⑤ 市外・県外資本が増え、このままでは地域の小売店が全滅するのではないか。買い物弱者対策として、移動販売を考えるが採算が合わないと聞く。今後は独居、免許返納に伴う交通弱者対策が必須となるが、経済活動や交通支援の移動販売と福祉サービスの介護弁当などをセットにしたような複合的なサービスの提供ができるよう、行政の縦割りの弊害を排除し、事業補助に対する制度設計の見直しを図ってほしいとの意見があったが、市の考えを問う。

(2) 観光業について

① 美又温泉の泉質はとても良いと好評だが、施設の外観が良くないとの声が多数ある。ハード面を改善すれば自信を持って広島からお客を連れてこられると意見があった。

このたび、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の地域計画が採択されことによるハード面の整備を期待するが、具体的な整備計画や、利用可能な空き地の利用などについて問う。

② 石見神楽の振興については国庫補助金の採択を受け、インバウンドの地方への誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業では、実行委員会を組織して実施しているが、具体的な事業内容や支援策を問う。

③ 魅力ある観光資源の PR 不足をいまだに感じるが、SNS 等を利活用する若い世代へのアピールの仕組みづくりとして、大田市が進める「遊ぶ広報」を調査・研究して、本市が進めている関係人口会員などと連携させた取組等はできないか問う。